

大草覚真流具足飾り

この具足飾りは、美濃加茂市観光協会の会員である、明智ゴルフ倶楽部 賑濟寺ゴルフ場のご厚意により展示されているものです。

具足飾りは、江戸時代に武家のお祝い事の飾りとして使われており、武士の甲冑をイメージして作られています。

<制作者>

明智ゴルフ倶楽部賑濟寺ゴルフ場
総料理長 兼 賑濟寺ゴルフ場料理長
村井宗嗣 さん



おおくさかくしんりゅうほうとうしき

「大草覚真流庖丁式」

室町時代から470年以上続く伝承文化で、魚に一切手を触れることなく、真菜箸と刀のような庖丁のみで美しくさばき、神に捧げる儀式のことを言います。

戦国時代には、武将の戦勝祈願として、後の平和な時代には豊漁や豊作の祈願の儀式として厳かに行われてきました。

